

学校と家庭を結ぶ学校くらしの情報誌

ながいけ
の愛称です

NAKKE NAVIGATION



長池小のどこに
何がありどうする
のかを簡潔にまとめ
た案内役 といった
意味を込めて

大阪市立長池小学校
大阪市立長池小学校P T A



CHALLENGE

目次（もくじ）

はじめに

学校長あいさつ	2
この本の見方・使い方	3
長池小の由来は？（長池小学校あれこれ）	4

基本編

1. 教育方針	
◇大阪の教育って？	7
◇長池の教育はこれだ！	8
2. 教育内容	
◇教科の学習には何があるの？	10
◇健康についての学習はやっているの？	13
◇人間としての尊厳を学ぶ	14
3. 特色ある教育	
◇長池小自慢の「田辺大根」って？（キャリア教育）	16
◇日本語教室のことが知りたい	18
◇基礎基本を身につけるって？（漢字道場、チャレンジタイムなど）	19
◇本を読む子になってほしいのですが（学校図書館教育）	20
◇子どもの手でよりよい学校を一特別活動	22
◇その子らしさを大切に（特別支援教育）	23

※その他のキーワード検索

- ア [運営に関する計画（P 9）](#)
 [栄養指導・保健指導（P 13）](#)
- カ [漢字道場・チャレンジタイム（P 19）](#)
- サ [習熟度別学習（P 20）](#)
- タ
- ハ [PISAの学力観（P 11）](#)
 [ふれあい活動（たてわり班）（P 17）](#)

【コラム】のコーナー

- | | | | |
|--------------|----------------------|-------------|----------------------|
| 学力の樹・学力とは？ | P 12 | 子どもの自尊感情と環境 | P 15 |
| こんな様子ありませんか？ | P 23 | | |

学校長あいさつ

ごあいさつ

大阪市立長池小学校へようこそ。長池小学校は、昭和4年に開校した歴史と伝統のある小学校で、いつも子どもたちの笑顔であふれています。新しく仲間入りをされたみなさん。早く長池小学校に慣れていっしょに楽しく元気に過ごしましょう。

この「ナッケナビゲーション」は、そのためにみなさんのお役に立つよう作成されたものです。長池小学校で生活するための基本的な情報をわかりやすく説明しています。わからないこと困ったことがあったらページを開いて答えを探してみてください。きっとすぐに見つかると思います。

それでも判断しにくいことや、不安なことがありましたら遠慮なく学校へ連絡・相談してください。みなさんが長池小学校で伸び伸びと過ごせるように力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

大阪市立長池小学校 校長 河野 孝宏

はじめに②

NAKKIE NAVIGATION

こんなふうに使おう！

この本の見方・使い方

この本のページの見方や、本の使い方、特徴などの説明が書いています。

そのページの
大見出しです。

そのページを表
すフレーズです。

このような小見出し ⇒
が入っているページが
たくさんあります。



そのページ
の中見出し
です。

写真や図、
絵を使って
できるだけ
わかりやす
くするよう
工夫してい
ます。

この冊子
が、単なる
ガイドブックで終わる
のではなく、
子育てにも
役立つ本と
なるよう、
「コラム」
がところど
ころに入っ
ています。

基本編

特色ある教育⑥

NAKKIE NAVIGATION

その子らしさを大切に

特別支援教育

長池小学校として進めている特徴的な教育内容の説明が書いています。

平成19年に、特別支援教育がスタートしました。これは、さまざまな障がいのある子どもたちがいる中で、その障がいの状況や個々のニーズが非常に多様化してきたことにより、個別のニーズに応じた支援ができるようにと、国（文部科学省）が方針を出し、始まったものです。

長池小学校では、障がいのある子どもの発達保障と、通常学級での学習と個別への支援とのバランスを取りながら、周りの子どもたちの障がい者理解と集団育成、共に生きていこうとする態度の育成など、これまでも継続して取り組んできました。本来「長池小学校の特色ある教育」ということではなく、どこでもあたりまえに行われるべき教育なわけです。

本校では、下図のように関係機関との連携をしながら特別支援教育の体制づくりに努め、子どもたち一人ひとりにとって必要な支援を検討し、日々実践しています。

長池小学校の特別支援教育体制

コラム こんな様子、ありませんか？

子どもは一人ひとり、まったくちがいます。同じということはないと言っているでしょう。だからこそステキであるし、そこがよいところだと言えます。

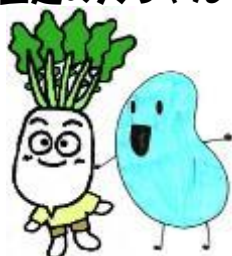
上のようなことがお子さまによく見られることはないでしょうか？たくさん見受けられた場合、お子さまは、発達障がいの部分をもっているかもしれません。その特徴の見出しは、早ければ早いほどよいと言われています。それは、お子さまのもつ特徴であり、個性であると言えます。その特徴や個性に合わせて子育てや教育を行っていくことが、お子さまの大きな成長へとつながるのです。

そのページ
に書かれて
いるおおよ
その内容を
書いていま
す。

このペー
ジの本文
です。

その内容に
関連する項
目があるペ
ージへ、す
ぐさま飛べ
るよう、リ
ンク(関連)
先が表示さ
れていま
す。

※ナッケちゃんと田辺の大ちゃん



ところどころに出てくるこのキャラクター。右が「ナッケちゃん」、左が「田辺の大ちゃん」です。右は本校卒業生が考案・デザインした「長池」をモチーフにしたキャラクターです。男の子です。田辺の大ちゃんは、イラストレーター辻本隆文さんの作品で、なにわの伝統野菜、田辺大根の象徴的なキャラクターとして、キーホルダーなども作られ、広く使用されています。

はじめに③

長池小の由来は？

長池小学校あれこれ

長池小学校の基本情報・歴史的なことが書かれています。



長池小学校は、1929年、昭和4年に長池尋常小学校として開校しました。近隣に北田辺小学校、南田辺小学校、田辺小学校と、いわゆる「田辺村」の地名に

ちなんだ名前がつけられている小学校が多い中、長池小学校は「西田辺小学校」ではなく「長池」なのです。

というのも、現在、長池公園に「長池」という池がありますが、その周りの長池公園も、そこから南西側へと続く「長池グラウンド」も、そして現在の長池小学校の敷地もすべて「長池」という池だったそうです。創立70周年記念誌に「…遠い記憶をたどりながら当時のことを思い出すと、学校周辺には公園や池がたくさんあり、釣りや昆虫採集の出来る絶好の遊び場でした。…」という手記が寄せられております。「長池」に校舎が映っている当時の写真もあります。

自然豊かな長池小学校の伝統は、ここからきているのですね。



現長池グラウンドの池に映る校舎



校章は、ご存知の通り松の葉をモチモチーフに、葉を5本組み合わせる星をかたどった形となっています。

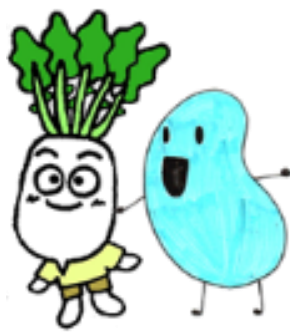
校歌の3番に「清らかな 松のふちどる 校章の」とあります。ということは、校章が先にできて、校歌がその後に来たと考えられます。



この、校章のできあがったいきさつも、校歌の作詞・作曲の経緯についても、過去の様々な文献や創立周年記念誌、地域にお住まいの方々にお聞きしても、今のところ謎となっています。上の写真↑は、昭和22年卒業の方が、参考にと持ってきてくださった、当時の文集と襟章です。どなたか校章や校歌についてご存知の方がおられましたら、長池小学校までご一報いただけたら幸いです。







教育方針①

大阪の教育って？

大阪市教育局振興基本計画

この本のページの見方や、本の使い方、特徴などの説明が書いています。



「大阪市教育改革プログラム」重点行動プラン 2008-2011 から

「大阪市教育振興基本計画」

～”ええとこ”のばそ 大阪の教育～

そして、改訂版大阪市教育局振興基本計画へ

大阪시는、平成 16 年に大阪市教育改革プログラムを出し、その重点行動プラン、さらに大阪市教育局振興基本計画として発展をさせ、大阪市全体の教育方針、教育改革の具体的方向を示してきました。基本計画の改訂版では、「グローバル改革」「カリキュラム改革」「ガバナンス改革」「マネジメント改革」「学校サポート改革」という5つの改革を提示し、学校の活性化や学力向上、保護者・地域との連携を進めるべく、これらにもとづいた学校の運営計画を作成していくこと、全市の学校で進めています。

詳しくは、大阪市のホームページをご覧ください。http://www.city.osaka.lg.jp/

【大阪市教育局振興基本計画の概要】

大阪市教育局振興基本計画の概要	
<p>第1編 大阪市の教育改革</p> <p>【第1章 計画の位置付け】(P1～6)</p> <p>計画の期間を平成23～27年度の5年間にすることなどを定めています。</p> <p>【第2章 教育改革の推進】(P6～23)</p> <p>基本的な目標</p> <p>この計画では、教育行政基本条例の本文に基づき、「めざすべき目標」と、その達成に向けて教育にたずさわるすべての人々が共に取り組む「基本となる考え方」を次のように掲げます。</p> <p>めざすべき目標</p> <p>全ての子どもたちが学力を身に付けながら健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに市民の社会を築くようになることをめざします。</p> <p>そのために、社会が多様化し変化する中で、国際化の進展や本音の災害の発生等を踏まえ、子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を拓く力を養えるようにします。</p> <p>基本となる考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもを、個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真摯と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を養い、グローバル化が進む国際社会において力強く生き抜くことができる人間として育てていくこと 子どもたちが、我が国と世界の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんだ国と、自ら育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること 教育行政においては、上野の教育が行われるよう、学校教育の円滑かつ継続的な実施のための支援、教員の能力・適性等の向上を図るための研修、家庭の教育力の向上の支援、青少年・成人に対する教育活動の振興に関する施策の推進に努めること <p>改革の方向性</p> <p>この計画は、教育行政基本条例と学校活性化条例の趣旨に則り、大阪市の教育改革を計画的に推進するためのものです。改革を進めて基本的な目標を達成できるよう、改革の方向性を次の3点に整理し、その方向性に基づき、新たな施策の実施や制度の確立に向けて取り組んでいきます。</p> <p>また、教育委員会は、本市の教育行政や学校運営、その関係の機関のあり方について、組織体制、職員の編成・人事を含め、実行制度の下で課題を整理し、その改革、改善を図っていきます。</p> <p>カリキュラム改革</p> <p>3つの目標（ええとこをばそ、たすけあう、おかりあう）を見据え、いかに社会が変化しようとも必要とされる学力、道徳心・社会性、健康・体力をはぐくみます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期から義務教育終了まで、基本的な道徳心・規範意識を培います 新たな幼児教育カリキュラムを編成・実施します ICTを活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす「大阪市スタンダードモデル」を策定します カリキュラムのインノベーションにつながる研究を進めます 通知簿改革等の評価を革新的なものにします 健全な食生活の確立に向けて教育を進めます <p>グローバル化改革</p> <p>国際共通語である英語を伝えることをめざす教育の充実や、世界最先端のICT学習環境の活用により、グローバル人材としての基礎を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「英語インベーション」：小中学校1年生から大阪独自の英語教育に取り組みます ICTを活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす「大阪市スタンダードモデル」を策定します 	<p>マネジメント改革</p> <p>教員がその能力と責任により自律的な学校運営を行い、子どもや保護者の意向に添え、学校や地域の実情に応じた特色ある教育実践を創出し、学校間の個性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員がリーダーシップを発揮して活気ある学校づくりを進めます 管理職を中心とした学校の組織でマネジメント体制の改革を進めます 教員人事制度等を見直しします 教員が互いに切磋琢磨し、優れた教育実践を創る仕組みをつくり出します <p>ガバナンス改革</p> <p>保護者・地域住民をはじめとする市民に説明責任を果たすとともに、市民の参加を得られるよう、積極的な連携、学校協議会の設置など開かれた学校運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域住民が開かれた学校をつくり出します 民間や行政との適正な役割分担を進めます <p>学校サポート改革</p> <p>専門家の支援や関係の協働化などにより、教員がその持てる能力を教育実践で十分に発揮できるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ・問題行動に毅然とした対応をとるための制度をつくり出します 体育・暴力行為を根本的に予防する、運動活動の適切な指導方法の確立を図ります 学校運営における関係の協力を支援します 学校施設以外でも多様な学習機会を利用できるよう支援します <p>【第3章 計画の推進】(P23～23)</p> <p>この計画に基づき施策を総合的に推進するために、社会全体がかりで教育活動に取り組むことを掲げています。また、施策を計画的に推進するために、各年度における目標や具体的取組を定め、その進捗状況を点検評価し、施策を改善していくことなどを定めています。</p> <p>第2編 今後5年間で取り組む施策</p> <p>(P24～43)</p> <p>今後進めていく施策の全体像について、子ども、学校、保護者、市民のそれぞれに対する3つの分野に分け、施策ごとに平成27年度までの目標を設定し、代表的な取組の概要と計画を整理しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に生きる力の育成 (カリキュラム改革、グローバル化改革) <p>幼児期から義務教育終了までの教育を充実させることにより、一人ひとりの子どもにとって将来の自立に必要な力を育てるとともに、国際社会において力強く生き抜くことができる人材となる基礎をはぐくみます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学力の向上 道徳心・社会性の育成 健康・体力の保持増進 幼児教育の充実 特別支援教育の充実 学校教員の質の向上 (マネジメント改革) <p>教員がリーダーシップを発揮し、教員が切磋琢磨することにより、優れた教育実践を創出するための仕組みづくりを進めます。併せて、教員がその持てる能力を教育実践で十分に発揮できるようにするための環境を整えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校の個性化 教員の資質・能力の向上 教育が活動する仕組みづくりと生涯学習の推進 (ガバナンス改革、学校サポート改革) <p>学校が積極的に連携を発揮し、保護者や地域住民が参加する開かれた学校運営を進めるとともに、学校における教育活動のサポートが一層充実するよう取り組みます。また、市民が地域社会の担い手として活動していくよう、市民の生活にわたる学習を支援し、その成果を地域における活動に生かすことができるようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域の連携の推進 生涯学習の推進

教育方針②

長池の教育はこれだ！

長池小学校教育方針

長池小学校の教育について、その大きな目標や方針が書かれています。

学校教育目標



長池小学校では、一人ひとりの個性を大切にしながら、それを発揮して相互にかかわりあい、その協働のなか、最後までねばり強く取り組む子どもの育成をめざし、学校・家庭・地域の三者一体となった教育を進めます。

学校教育目標

ねばり強い子どもを育てる

学校経営の重点

個性が輝く学校



めざす学校像



<p>知</p> <p>1. 進んで学習に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字道場・チャレンジタイム →基礎学力の定着・向上 習熟度別少人数指導・研究活動 →個に応じた指導・わかる授業 体験的な学習・協働学習 1年生からの英語 →コミュニケーション力の育成 <p>自ら学ぼうとする姿勢</p>	<p>徳</p> <p>2. 望ましい人間関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 異学年交流「ふれあい活動」 思いやりの心・集団づくり 道徳教育との関連づけ 人権教育の充実 「ちがいを認め合い、自他の良さに気づき、協働する <p>自他尊重の態度</p>	<p>体</p> <p>3. 健全な生活習慣を養う</p> <ul style="list-style-type: none"> 手洗い・うがいの徹底など、基本的な生活習慣の定着 計画的な栄養指導と、給食指導の工夫 一食育の充実・啓発 ナガリンピック・運動カーニバル →運動の日常化、基礎体力向上 <p>健康と体力を磨く</p>
--	--	---

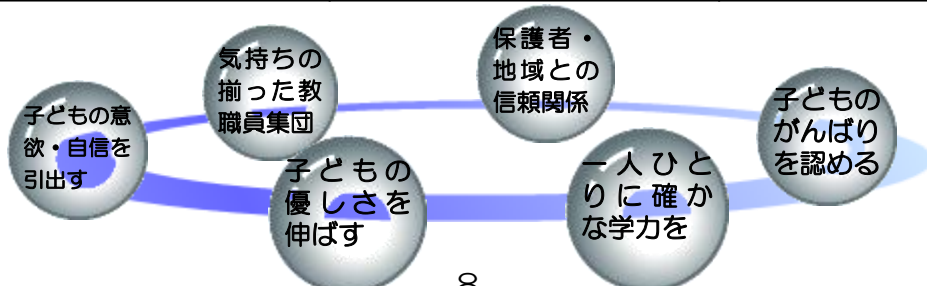
重点目標

学校教育目標や学校経営の重点にもとづき、長池小学校では、その達成に向けた具体的な取り組みを重点目標として設定しています。

自ら学び、自ら考え、ねばり強く問題を解決しようとする子どもを育てる。

互いのよさを認め、互いに高めあう子どもを育てる。

自らの健康や体力に関心をもち、たくましく生きる子どもを育てる。





大阪市の教育振興基本計画に則り各学校において「運営に関する計画」を策定しています。長池小学校においても、これを作成、ホームページ

にて公開しています。

この「運営に関する計画」は、「中期目標（数年で実現をめざす目標）」とその目標達成に向けた「年度目標」を設定し、その目標達成のための指標、さらにその指標のための具体的な取り組み内容も設定します。

そして、10月に中間評価、1月に年度末評価を行います。これは、学校の教職員全体で行う内部評価です。つまり、自分たちで目標を立て、取り組み内容を決め、自分た

平成26年度

運営に関する計画

(中期目標・年度目標及び取り組み内容)

中間評価

平成26年8月

大阪市立長池小学校

年度目標	
【経営 学力の向上】 ○学習態度調査（基礎学力調査）結果において、いずれの学年も前年率70%を上回る達成率を達成し、かつ2学年の達成率が前年率80%を、3学年の達成率が前年率40%を達成できるようにする。 （カリキュラム改訂後） ○授業アンケートで「学習を通して、自分の考えや意見を言えるようになった」と感じる「さまざまなことを経験し、調べたり実践したりする力が身につけてきている」と思う「の授業」における学習態度を30%以上にする。 （カリキュラム改訂後）	B ₂
年度目標の達成に向けた取組内容、事業の進捗状況を調べる評価	
事業内容①【学習態度向上・基礎学力の向上】 レディマスタや授業アンケートをもとにクラス単位で行い、授業の進捗に即した指導方針を定める。 評価： レディマスタや授業アンケートをもとに、クラス単位で行う。	B ₁
事業内容②【学習態度向上・基礎学力の向上】 授業の進捗を把握する授業観察や授業タイムをさらに充実させる。 評価： チャレンジする児童や進捗を把握するプリント内容の達成状況を把握する。	B ₁
事業内容③【学習態度向上・基礎学力の向上】 自分の考えや意見を言えるように育てる活動を通してコミュニケーション能力を育成する。 評価： 授業観察の振り返りを通して、自分の考えや意見を言えるように育てる活動を通してコミュニケーション能力を育成する。	B ₁
事業内容④【 評価：]	
年度目標の達成状況や事業の進捗状況を把握と分析	
① レディマスタや授業アンケートをもとに、児童・学習内容を考慮し、レディマスタ指導を行い、少人数・個別指導体制を構築することを目指す。 ② 毎時授業タイムで実施したプリントを評価し、スランプを解消することで進捗を把握することを目指す。さらに、授業に即した振り返り、プリントの内容を工夫改善し、授業観察や授業タイムの達成を図るようにする。 ③ 自分の考えを言えるように、次年度の考えを言えるように育てる活動を通してコミュニケーション能力を育成する。 ④ 授業観察の振り返りを通して、自分の考えや意見を言えるように育てる活動を通してコミュニケーション能力を育成する。	
長池への取組	
○ 授業観察・評価タイムの充実のための取組を推進する。 ○ 授業観察を通して、児童・学習内容を考慮し、レディマスタ指導を行い、少人数・個別指導体制を構築することを目指す。 ○ 毎時授業タイムで実施したプリントを評価し、スランプを解消することで進捗を把握することを目指す。さらに、授業に即した振り返り、プリントの内容を工夫改善し、授業観察や授業タイムの達成を図るようにする。	

ちで評価するという、いわゆる「自己評価」なわけです。それでは汎用性をもちえませんが、年度末には「学校協議会」をもち、地域・保護者の代表の方、有識者の方を協議委員として、これらの結果を公表した上で評価いただく「学校関係者評価」を行っています。そうして、最終評価を行い、ホームページ等で広く一般に公開するのです。

このように、運営に関する計画では、

「目標立て・具体的な取り組みの計画・立案」→「立案した取り組みの実行」
→「取り組み内容とその効果の検証、評価、修正」→「修正を加えた取り組み等の再実行」

といった、一連の流れで行われていく学校運

営・組織づくりの手法です。そしてまた次年度、目標設定やその取り組みに生かしていきます。

こうしたサイクルのことを「PDCA サイクル」と呼んでいます。

つまり、運営に関する計画は、「PDCA サイクルによる学校力向上と学校の活性化」をねらって行われているのです。



教育内容①

教科の学習には何があるの？

教科の学習

小学校における教科の学習について、その内容やねらいが書かれています。



まずは教科・領域の学習です。国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育の9つを「教科」、総合的な学習の時間、道徳、特別活動（学級活動等）、外国語活動の4つを「領域」と呼んでいます。

学校の勉強の時間は決められています

右の表のように、これらの教科・領域の学習は、年間の時間数が決められています。

例えば、国語科の年間時数は2年生が最も多く、315時間ですが、5年生以上になると、175時間となります。1年生は学校生活に慣れることを考慮した時数配当となっています。

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
総授業時数	850	910	945	980	980	980
国語	306	315	245	245	175	175
社会			70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科			90	105	105	105
生活	102	105				
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭					60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間			70 (105)	70 (105)	70 (105)	70 (105)
特別活動	34	35	35	35	35	35
外国語活動			15	15	35	35

また、学年によってない教科・領域もあります。

1・2年生…理科・社会科・家庭科・総合的な学習の時間・外国語活動なし。

生活科あり。

3・4年生…家庭科・生活科・外国語活動なし。

5・6年生…生活科なし。

この他、4年生以上にクラブ活動、5年生以上に委員会活動があります。



これらは特別活動としての位置づけとなっています。この決められた教科・領域の年間時数を下回らないよう、年間の総日数から総時数を割り出し、学校行事との兼ね合いを考えながら、毎週チェックしています。



－PISAの学力観

PISA(Programme for International Student Assessment)とは、OECDが進めている、児童・生徒に対する、国際的な学習到達度調査で、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーなどの調査が行われています。

教科の学習は、年間1000時間近くあるうちの、800時間ほどをしめる、学校の中では一番多い時間です。この時間を通じて、子どもたちがたくさんのことを学ぶことは、言うまでもありません。

めまぐるしく変化する国際化・情報科社会の現代において、昨今、世界で求められている「学力」というものは、

「覚えているか覚えていないか」よりも、そのことを
「使いこなせるか、こなせないか」

とされています。つまり、

これまでの学習の仕方、多かったパターン

 <p>新しい問題場面に出くわしたときに…</p>	 <p>前に習ったことを使うことを教えてもらって…</p>	 <p>それを使って、問題を解決する。</p>
---	---	---



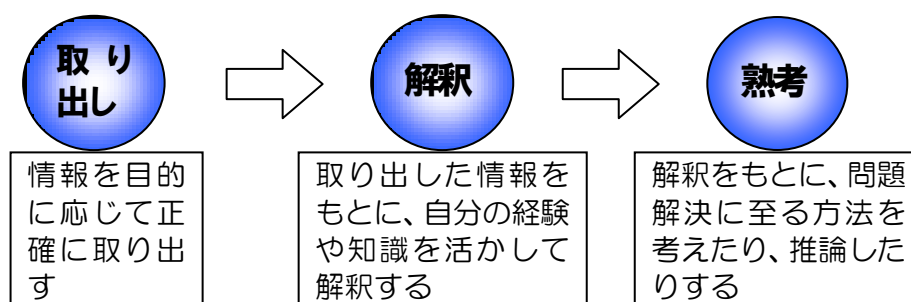
これからの学習で大事なこと

 <p>新しい問題場面に出くわしたときに…</p>	 <p>いろいろ見たり聞いたりしながら前に習ったことの情報をつかんで…</p>	 <p>どの情報を使うか判断して解決し、解決までのことを説明する</p>
--	--	---

つまり、

見たり聞いたりしてもいいから、それを使えるようになること

が大切なのです。そして、それを説明にまで至るようするには、



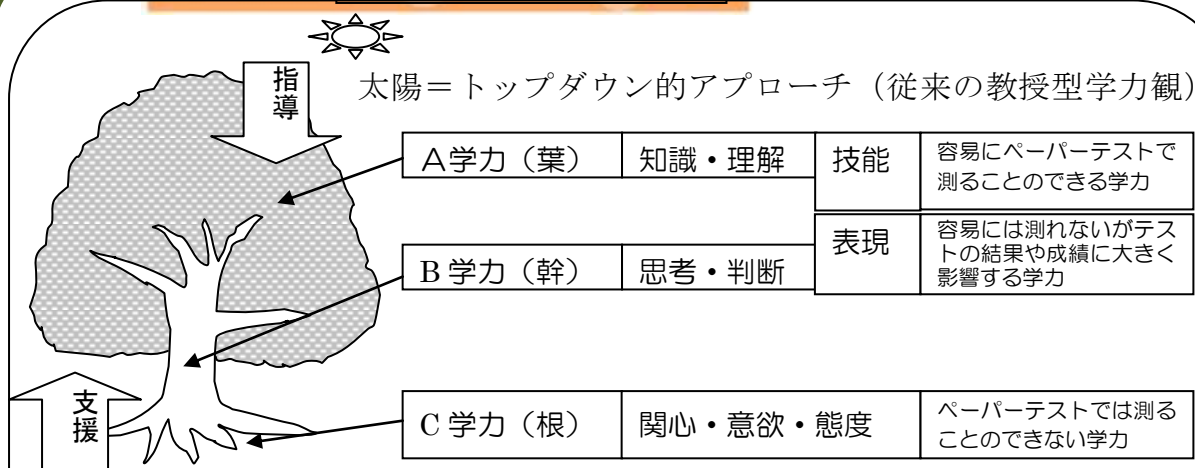
論理的思考・表現

ということが、大事になってきます。

長池小学校では、算数科・国語科を中心に、すべての教科学習において、この「論理的思考・表現力」を高めることを目標とし、考えや意見を発表したり書いたり、「話す・説明する」ということに重点をおいた授業展開を行っています。

コラム

学力の樹・学力とは？



大地＝ボトムアップ的なアプローチ、意欲を喚起し思考・判断・表現の活動を通して知識・理解をも身につけるようにする。

【大阪大学人間科学部教授 志水光吉氏 著「学力を育てる」より】

学力には「狭い意味での学力」「広い意味での学力」、「ペーパーテストの学力」「生きる力」などなど、それはさまざまな言い方がされており、一口に「学力」と言っても、何をさすのか一概には言えません。

阪大の志水宏吉教授は、上図のように、「学力の樹」として表しています。いわゆる、全国学力調査で測っている学力とは、上の図でいうA、Bの部分です。強いて言えば、Aがいわゆる「A問題（主として基礎）」、Bがいわゆる「B問題（主として活用）」です。で、忘れてはならないのが、「C」です。Cは生涯にわたって学習するという観点からすると最も重要です。

したがって、現在行われている調査は、学力の一部に過ぎません。その点数のみで、その子どもという人間が評価されているのではないということを、きちんと心に留めておくことが大切です。

教育内容②

健康についての学習はやっているの？

健康教育

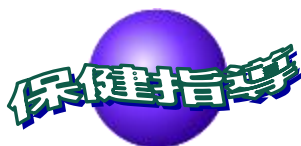
教科としての学習でなく、横断的な、あるいはそれ以外の学習について書かれています。

「健康」はあらゆる事柄の中で、最も重要であると言えます。どんな学習も、どれだけ価値のある活動も、健康でなければ何もできません。長池小学校では、健康教育の重要性を考え、年間を通じて計画的に行っています。



長池小学校では特別活動、総合的な学習の時間を使って、栄養教諭による栄養指導を各学年において計画的に行っています。

学年	テーマ	主な内容
1	すき・きれいをしないで食べよう	食べ物はそのはたらきによって三つにわけられることを知る
	骨や歯をじょうぶにしよう	なぜ牛乳が給食に毎回あるのか？1日の牛乳の摂取量・カルシウムのはたらきを知る
2	よい手の洗い方	よい手の洗い方を理解し、食中毒予防につながることを知る
	食べ物をなかにまにわけよう	食べ物を赤・黄・緑のグループにわけよう
3	おやつについて考えよう	おやつは砂糖・塩・油を多く含むものが多いことを知り、砂糖の摂取量・過剰摂取による体への影響・食べるときの注意点を理解する。
	三色栄養	パズルを作り、三色栄養の分類・はたらきを確認する。
4	もっと野菜を食べよう	野菜のはたらき・種類・摂取量を知り、1日300g摂取する方法を理解する
	三色栄養	パソコンを使って三色栄養の分類・はたらきを理解する
5	魚を食べよう	魚の旬・栄養を知り、肉と魚をバランスよく食べることを理解する
	朝ごはんについて考えよう	朝ごはんのはたらきを知ってメニューをつくり赤・黄・青のバランスをチェックする。
6	よくかんで食べよう	歴史上の人物の食事と現代の食事を比較し、咀嚼と体の関係を知る
	大豆について	昔の主たる蛋白源であった大豆・加工品を確認し、消費量・生産量から食料自給率等を考える。



また、養護教諭による保健指導も、発育測定や学級活動の時間を使って年間を通じて行っています。

1学期	2学期	3学期
-----	-----	-----

・保健室の約束
・健康診断を正しく受けよう

・けがを防ごう
・応急手当の仕方

・かぜの予防
・手洗い、うがいについて

・6年間の
成長の記録

教育内容③

人間としての尊厳を学ぶ

人権教育

人権教育について、大阪市、長池小学校での人権教育の目標や内容が書かれています。

大阪市の人権教育

大阪市では、人権が尊重される社会の実現をめざし、さまざまな人権に関わる課題をテーマに、市民や職員の人権意識の高揚を図るために効果的な啓発を推進しています。

国においては平成 12 (2000) 年「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定され、平成 14 (2002) 年、「人権教育・啓発に関する基本計画」として策定されました。

大阪市では、平成 20 (2008) 年 4 月に「大阪市人権行政推進本部」を設置、平成 21 (2009) 年 2 月に「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」を策定し、すべての市民の人権を尊重するため、市民から賛同と協力が得られる新しい人権行政を再構築し、市民が「人権が尊重されるまち」になったと実感できる「国際人権都市大阪」の実現に向けて、人権教育・啓発を「人権が尊重されるまち」へ導くための大きな原動力（人権行政のエンジン）として、人権相談・救済を人権侵害が起こったときの備え（人権行政のエアバッグ）と位置づけて、さまざまな取り組みを継続的かつ体系的に推進していくこととしています。

長池小学校の人権教育

長池小学校では、この大阪市の人権行政推進計画に基づきながら、平成 18 年 1 月に国から出された「人権教育の指導方法のあり方について ～第 2 次とりまとめ～」の「人権教

育を通じて育てたい資質・能力」で示されている側面・内容をふまえるべく、年間の指導計画を作成しています。

すなわち、「人権に関する知的理解」として、読み物教材や資料を活用した学習、人権課題となっている事柄についての学習を行い、「人権感覚」として、さまざまなアクティビティやワークショップを通して価値的・感情的側面、コミュニケーションスキル、ピア・サポートの手法を取り入れるなどの技術的側面を養う学習を行っています。

また、本校は「帰国した子どもの日本語指導センター校」として位置づけられており、他校からたくさんの外国籍の子どもたちが本校の日本語教室に通級しています。その子どもたちとの交流を通して国際理解教育の充実



を図っている点も、本校の大きな特徴です。

長池小学校の人権教育の年間計画は、次のようになっています。（長池小の標準例）

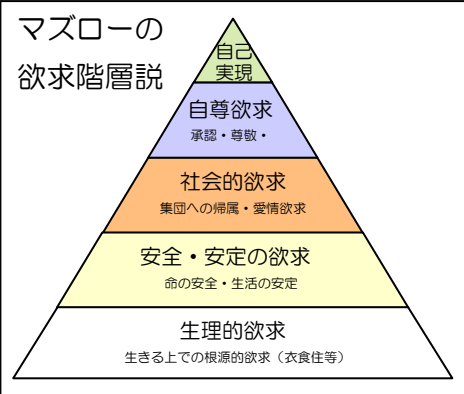
※（部）…部落問題学習 （在）…在日外国人教育 （障）…障がい児教育
（平）…平和教育 （環）…環境・生命・福祉 （国）…国際理解 （集）…集団育成
（男女）…男女共生 （子）…子どもの人権 （他）…その他

学年	1学期	2学期	3学期
1年	「どうしたん」(集) 「こんなこと したよ」(集) 「だんごむし」(環) 「ぶんぶんぶん」(国) ※「ひまわり」「日本語教室」 ってどんなところ？	「こんにちは」(国) 「わたしも よせて」(集)	「ひとりぼっちのライオン」(集)
2年	「とりあいじゃんけん」(集) 「おかあさんのしごと」(部)	「じらいではなく花をください」(平) 「ばんごはんのしたく」(男女)	「手やゆびではなそう」(障) 「もーおーうしです」(部)
3年	「もやもや書き」(集) 「わたし・ともだち・おかあさん・おとうさん」(在)	「なあなあ お母さん」(障) 「ピカドン」(平) 「もーおーうしです」(部)	「公園」(障)(国)(他) 「みんなの町」(部)(在)(他)
4年	盲導犬(障) ユニバーサルデザインを知ろう(障) 車いす体験Ⅰ(障)	「わかってくれるかな」(国) 「じゅん子のなかま」(男女) 「車いすのいろいろな動かし方」(障) 車いす体験Ⅱ(障)	「お父さん 僕の足も 地雷に・・・」(平) 「もーおーうしです」(部) 車いすバスケット体験(障)
5年	「自然に、私のままで」(男女) 「人のつながる町」(部) 「わたしの町の いろんな国の人」(国)	「わたしのせいじゃない」(集) 「みえないって どんなこと」(障)	「心の中の宝物」(他) 「コリアタウンへようこそ」(在) 「もーおーうしです」(部)
6年	「あなたはわるくないよ」(子) 「ヒロシマには歳はないんだよ」(平) 「もーおーうしです」(部)	「洪染一揆」(部) 「江戸時代の日本と朝鮮」または「明日から本名で生きよう」(旧：読本「にんげん」)(在)	「おじいちゃんの介護」(障) 「一票の権利」(男女) ※「世界がもし100人の村だったら」(国) ※「世界の12才」(国)

コラム

子どもの自尊感情と環境

マズローの
欲求階層説



子どもの自尊感情(self-esteem)が大切だと言われて久しくなっていますが、同時に将来展望、いわゆる「夢」を描くことの重要性もよく語られます。夢を実現する＝自己実現を図るということになると思いますが、アメリカの有名な心理学者、アブラハム・マズローは、左のような欲求階層説を唱えました。

マズローによると、人間の欲求には5段階あり、下位の欲求が満たされて、はじめて一つ上位の欲求、願望が生まれるとのこと。このことからすると、子どもたちに自尊感情、ひいては「夢＝自己実現」をもたらすには、その前の段階の欲求である「社会的欲求」が

満たされているという状況をもたらさないといけないということになります。さらにはその前の「安全・安定の欲求」「生理的欲求」しかり、です。衣食住などの毎日の基本的生活、あるいは安全が脅かされるような世の中では、子どもの自尊感情も将来展望も育たないということですね。我々大人がそういった環境をしっかりと築いていくということが大切です。

特色ある教育①

長池小自慢の「田辺大根」って？

田辺大根栽培を通してのキャリア教育

長池小学校として進めている特徴的な教育内容の説明が書いています。

キャリア教育の流れ

20 世紀後半におきた地球規模の情報技術革新に起因する社会経済・産業的環境の国際化、グローバル化により、そのころから「キャリア教育」が言われ始めました。

キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して「キャリア発達」を促す教育（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成 23 年 1 月 31 日））と言われています。その「キャリア」とは「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だしていく連なりや積み重ね」と定義されています。社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」といいます。

こうした概念や理念、ねらいをふまえ、小学校段階でのキャリア教育においては、求められる4つの領域における8つの能力と言われてきました。H23年にそれが見直され、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力という4つの能力に集約され、それらを「基礎的・汎用的能力」としてまとめられました。

「キャリア発達にかかわる諸能力（例）」
（4領域8能力）

人間関係形成能力	自他の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意思決定能力	選択能力 課題解決能力

「基礎的・汎用的能力」

人間関係形成・社会形成能力
自己理解・自己管理能力
課題対応能力
キャリアプランニング能力

※図中の線は両者の関係性が相対的に見て弱いことを示している。「計画実行能力」「課題解決能力」という「ラベル」からは「課題対応能力」と密接なつながりが連想されるが、能力の説明等までを視野におさめた場合、「4領域8能力」では、「基礎的・汎用的能力」における「課題対応能力」に相当する能力について、必ずしも前面に出されてはいなかったことが分かる。

長池小学校では、この基礎的・汎用的能力を培うための取り組みとして、その軸に「田辺大根づくり」があるのです。

子どもたちは、ふれあい班というたてわり活動を通して、「人間関係形成・社会形成能力」を磨いたり、その活動中に起こるさまざまな出来事に対し、「課題対応能力」と研ぎ澄ませていくのです。さらには、実際の栽培によってその難しさや苦労に触れ、「人との関係」「協力」「農作業そのものの仕事」という要素から、自らの傾向や自戒の思い、つまり「自己理

解・自己管理能力」を高め、さらにはそのトータルとして自己の生活・将来を設計する「キャリアプランニング能力」を身につけていくのです。

以下に長池小学校の、田辺大根を通じてのキャリア教育イメージを図説します。



さて、その「たてわり班」ですが、本校では、6年生をリーダーとしてたてわり班（ふれあい班）を毎年編成し、様々な取り組みをしています。週1時間を「ふれあいタイム」とし、全学年で活動をしています。また、児童会の取り組みや朝の児童集会にふれあい班での活動が加わり、その取り組みが広がってきています。

このふれあい活動は、以下のことをねらっています。

- ・普段ふれあう機会の少ない学年を超えた仲間づくりをすすめます。そして、上級生が下級生の面倒を見ることで、思いやりの心と自尊感情を育むことができると考えています。
- ・主体的な班での活動を中心にすすめるので、自主性と責任感が育つ。
- ・地域のことを学び、地域に愛着を持つことができる。また、地域の方とのふれあうことを通してつながり、コミュニティ作りにも役立っている。
- ・田辺大根を育てることで土や自然にふれあうことができる。



学 期	具 体 的 な 活 動 内 容
1 学期	○班編成（6学年が均等になるように全校児童を48班に振り分け） ○田辺大根の種取り（6月～7月 種取り用の畑から種を取ります） ○ナックカーニバル（子どもまつり、ふれあい班で店を出す）
2 学期	○田辺大根づくり（9月～12月） ・地域田辺大根サポーターからレクチャーを受けた6年生が、それをもとに班のメンバーに責任を持って教える。 ○ふれあい遠足（ふれあい班でオリエンテーリング）
3 学期	○農園の整備と土づくり（来年に向けての土づくり） ○卒業を祝う会、お別れ会（お世話になった6年生に感謝の気持ちを込めて）

特色ある教育②

日本語教室のことが知りたい

帰国・来日した子どもの日本語指導センター校

通級する子どもたち

日本語指導、国際理解教育についての説明が書かれています。

大阪市内の小学校・中学校には、「帰国・来日した子どもの教育センター校」があります（以下、「日本語教室」と呼びます）。小学校に4校、中学校に4校ありますが、長池小学校は、その8校の内の1校です。

帰国・来日した外国につながるのある子どもたちが日本語の学習をしています。中

センター校の所在地と通級人数

小学校 ← 木川・西九条・長池・瓜破東

中学校 ← 豊崎・市岡・阿倍野・瓜破

（長池小）

24年度 中国 フィリピン モンゴル 韓国 アメリカ

25年度 中国 フィリピン タイ ラオス アメリカ

26年度 中国 フィリピン タイ 韓国

授業のようす



国・韓国・フィリピン・タイなど、さまざまな国とつながりのある子どもたちが通級しています。

日本語指導の実際

がな、カタカナなどの文字学習、日本語の文型学習、聴解（聞き取って理解する、リスニング）や



日本語教室では、日本語に慣れない子どもたちに、いわゆる

生活言語の習得をめざして指導しています。ひら

スピーチ・作文の練習などを行っています。



います。また、日本語の学習だけではなく、学校生活や日本の文化や習慣についても学べるように適応指導も行っています。

さらに、左の写真のように、長池小学校の学級・学年と交流をもつ場も設定しています。

特色ある教育③

基礎基本を身につけるって？

基礎・基本の定着をめざした教育

学力の基礎を培うための長池小学校の特色ある取り組みが書かれています。



長池小学校では、教科の学習に

おける「基礎基本」「活用する力」のうち、「基礎基本」の定着を図るため、様々な工夫した取り組みを行っています。

その一つに「漢字道場」があります。

漢字道場は小学校で習う漢字を1段から6段、計30級600問に整理した長池小学校オリジナルの教材です。

毎週金曜日、朝8:40から5分間、自分の選んだ問題に挑戦します。10問

正解してはじめて次の級へ進めます。その段の級をすべて合格すると、次の段に進むか、「デ

	その段を構成する級				
1段	1級	2級	3級	4級	5級
2段	6級	7級	8級	9級	10級
3段	11級	12級	13級	14級	15級
4段	16級	17級	18級	19級	20級
5段	21級	22級	23級	24級	25級
6段	26級	27級	28級	29級	30級

デラックス

金メダル

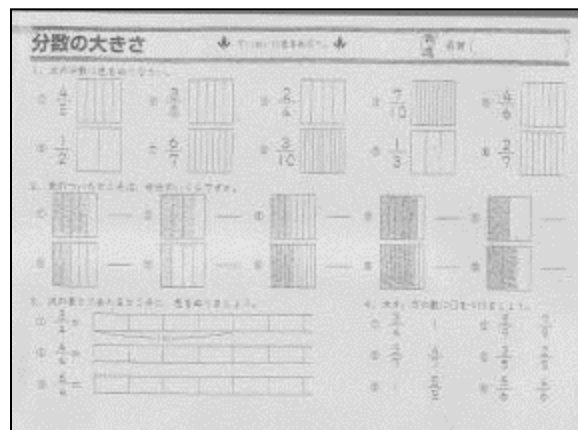
ラックス」または「金メダル」という、四字熟語や特別な漢字など、発展的な内容にも挑戦できます。

このように、漢字道場は習っていない漢字にも挑戦していくという、自学自習のためのツールなのです。



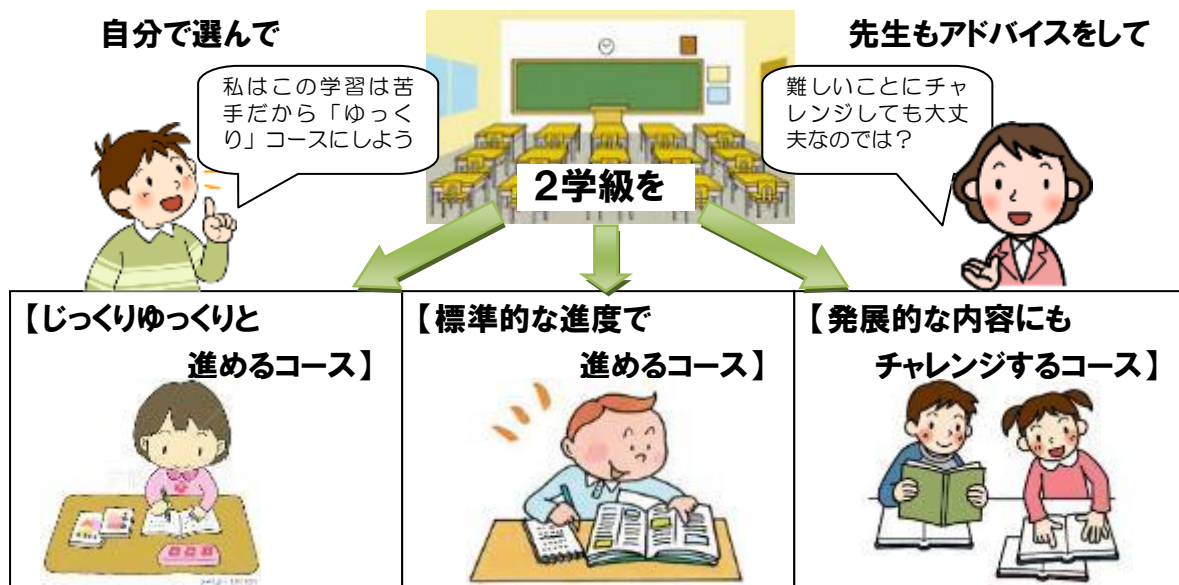
漢字道場と同様、算数の基礎基本の定着をはかる取り組みとしては、「チャレンジタイム」があります。同じく朝の時間を使って、自学

自習として取り組むプリント学習です。その学年の学習内容に応じたプリントをどんどんと自分で取り組んでいきます。「計算タイム」として定着してきたこの取り組みは、計算領域に限定せず、「量と測定領域」「図形」「数量関係」と、算数科のすべての領域を網羅した自主学習ツールとして発展させています。



習熟度別学習

普段の授業において、学習の過程が複雑で、子どもたちにとっては理解しにくい内容の学習が単元によってはあります。そうしたときに、既習の事柄の理解度や子どもたち自身が感じている苦手意識の度合いに応じて2学級を3クラスに分け、よりきめ細やかな授業を展開しようとしたものが、この「習熟度別学習」、正確には「習熟度別少人数指導」といいます。長池小学校では、国語科及び算数科の2教科において、3年生以上にこの習熟度別学習を取り入れています。年間総時数の約4割程度、この少人数指導を取り入れることをおおよその目安として取り組んでいます。

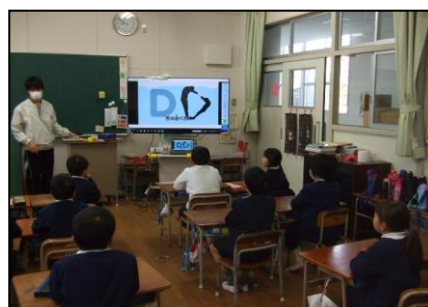


英語モジュール学習

本校では、以前から英語の学習を1年生から実践していますが、2020年から5・6年生では教科学習として、3・4年生では外国語活動として全面実施となります。その実施に向けて、少しずつ段階的に推進していく予定です。28度から、木曜日の1時間目が始まる前（特別な活動がある時はありません）に「英語モジュール（短時間）学習」を実施しています。英語の文字と音に親しめるよう、少しずつ進めています。29年度は、あと15分×2コマ増やす予定です。（合計15分×3コマ）

例

木 曜 日	
8:30~8:40	朝の会など
8:40~8:55	英語モジュール学習
8:55~	1時間目の学習



特色ある教育④

本を読む子になってほしいのですが...

図書教育の充実

読書推進のためのさまざまな取り組みについての説明が書かれています。



朝の時間を活用しての取り組みに読書タイムもあります。子どもたちの読書に対する興味・関心を引き出すべく、長池小学校では、4名の読み聞かせボランティアの方が交代で各学年を回って絵本の読み聞かせをしてくださっています。また、阿倍野図書館とも連携し、各ボランティアグループに来ていただいて「お話会」を年に1回行っています。



週に6～8時間ある国語科の時間の内、毎週1時間は図書の時間として設定されています。大阪読書推進協会発行の読書ノートを活用し、たくさん本を読む仕掛けづくりを行っています。読書ノートは、100冊達成すると、朝日新聞デジタル上に名前が発表されます。

こうした取り組みを軸にしながら、読書の日常化を図るための



取り組みとを合わせて、長池小学校では大阪市の「学校図書館活性化事業」を活用し様々な学校図書館の充実を図る取り組みを進めています。学校図書館の電算化、図書館ボランティア、図書委員会による子どもの自主的活動がそれです。



本を季節や行事

とりわけ長池小学校の図書館ボランティアのみなさんは、週に3～4回の昼休みの図書館開放のみならず、書架の補修と整理、おすすめのことにまとめて効果的な展示をする「本のギャラリー」、図書館内の掲示、ミニ絵本づくりなどの読書関連教室の開催など、ボランティアの方々による自主的自立的活動が他に例を見ないほど充実しています。

また、それに負けじと図書委員会も普段の図書館開放はもちろんのこと「読書スタンプラリー」といった独自の取り組みも行っています。



83 ページ



特色ある教育⑤

子どもの手でよりよい学校をー特別活動

その他の教育活動

特別活動についての説明が書いています。

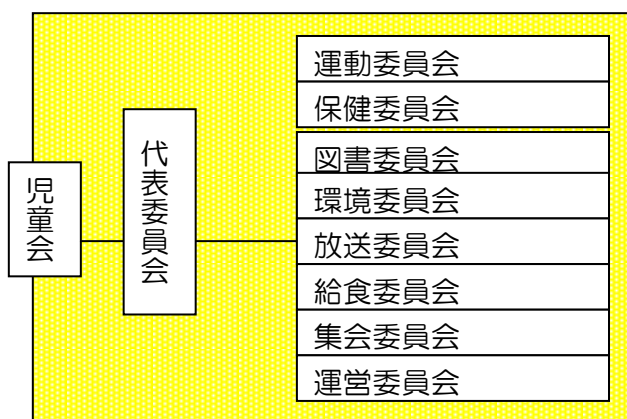
クラブ活動・委員会活動

委員会活動は、毎月1回、第1火曜日の6時間目におこなわれています。子どもたちが自分たちで学校をよくしていこうという、自主的な活動です。児童会活動

については、4年生から6年生までの各学級において、学級代表を2名ずつ選出し、さらに4年生から1名、5・6年生から2名ずつの計5名の運営委員を選出し、委員会の委員長とも合わせて、毎月1回、委員会とは別に代表委員会を開いています。そこでさまざまな児童会としての行事を計画し、「ナッケカーニバル」などの、子どもたち同士がふれあい、つながるための、子どもたちの手によるさまざまな行事を行っています。

クラブ活動は、全部で8つ。4年生以上の子どもたちが、それぞれ自分が深めたいというクラブに所属し、第3・4火曜日の行事のない日の14：45～15：30に活動しています。

児童会活動・委員会活動



クラブ活動

ボールクラブ
陸上クラブ
卓球クラブ
一輪車クラブ
パソコンクラブ
科学クラブ
国際交流クラブ
音楽クラブ

児童会活動



上記で述べたように、児童会活動は代表委員を中心に子どもたちが学校生活をよりよく楽しむための子どもたち自身の自主的自発的活動です。いわゆる子どもまつりである「ナッケカーニバル」をはじめ、「ナッケ田辺大根祭り」や「卒業をお祝いする会」など、様々な行事を行っています。自分たちの手で進める児童会活動は、子どもたちの成長に欠かせない、大切な教育活動です。



特色ある教育⑥

その子らしさを大切に

特別支援教育

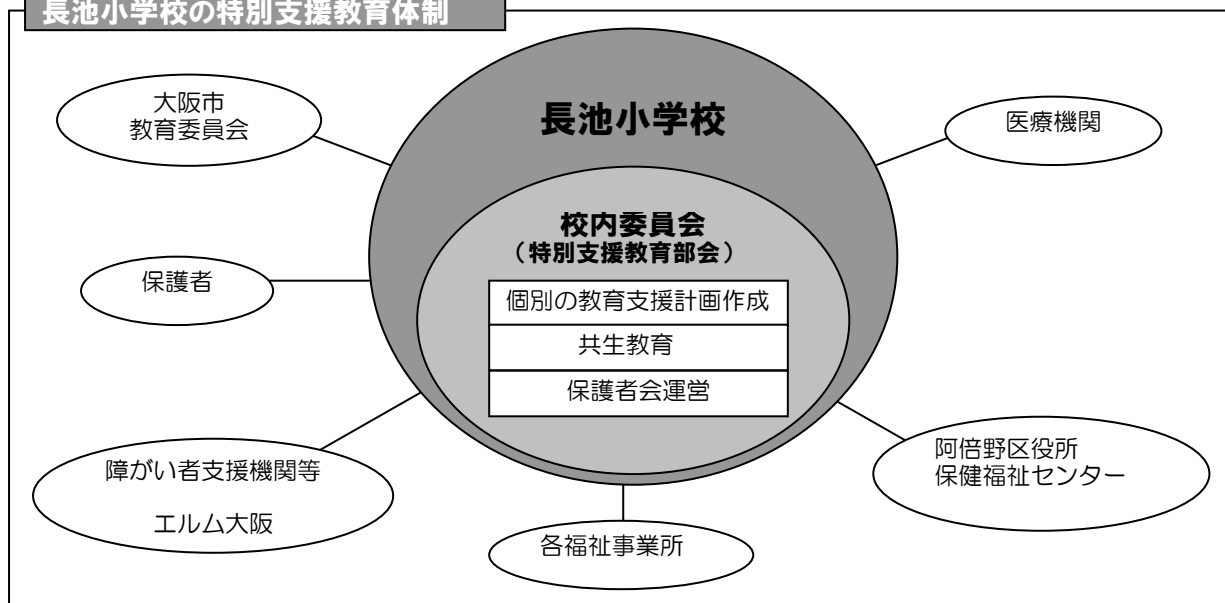
長池小学校として進めている特徴的な教育内容の説明が書いています。

平成19年に、特別支援教育がスタートしました。これは、さまざまな障がいのある子どもたちがいる中で、その障がいの状況や個々のニーズが非常に多様化してきたことにより、個別のニーズに応じた支援ができるようにと、国（文部科学省）が方針を出し、始まったものです。

長池小学校では、障がいのある子どもの発達保障と、通常学級での学習と個別への支援とのバランスを取りながら、周りの子どもたちの障がい者理解と集団育成、共に生きていこうとする態度の育成など、これまでも継続して取り組んできました。本来「長池小学校の特色ある教育」ということではなく、どこでもあたりまえに行われるべき教育なわけです。

本校では、下図のように関係機関との連携をしながら特別支援教育の体制づくりに努め、子どもたち一人ひとりにとって必要な支援を検討し、日々実践しています。

長池小学校の特別支援教育体制



コラム

こんな様子、ありませんか？

本読みで、文字や行をよくとばして読んでいる。

小さな音もすぐ気になり、大切なことを聞き逃す。

たくさんの友だちの中ではなかなか話が聞けない。

衣服のタグを全部切ったり、襟まわりを気にする。

じっとしていることが少なく、あちこちに動き回る。

非常にこだわりが強く、特定のことにだけ集中する。

会話にそって話をせず、まったく関係のない話題にとぶことが多い。

子どもは一人ひとり、まったくちがいます。同じということはないと言っていていいでしょう。だからこそステキであるし、そこがよいところだと言えます。

上のようなことがお子さまによく見られることはないでしょうか？たくさん見受けられた場合、お子さまは、発達障がいの部分をもっているかもしれません。その特徴の見出しは、早ければ早いほどよいと言われています。それは、お子さまのもつ特徴であり、個性であると言えます。その特徴や個性に合わせて子育てや教育を行っていくことが、お子さまの大きな成長へとつながるのです。